

第9学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年11月5日(土) 第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立扇中学校
 指導者 1組 35名 指導者 高橋 宏典
 2組 35名 指導者 兵藤 紀幸

- 1 内容項目 B 礼儀
- 2 主題名 礼儀の意義
- 3 教材名 校長先生の模擬面接
- 4 本時のねらい 礼儀の意義を理解し、主体的に時と場に応じた適切な言動をとろうとする実践意欲と態度を育てる。
- 5 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点
導入 15分	1 マナーやエチケットについて考えを出し合う	○社会にはさまざまなマナーやエチケットがある。どんなものがあるかあげてみよう。 ・公共の場では互いに譲り合う。 ○あげた中からグループで1つの場面を演じ、演じてみた感想を書こう	○自由に意見を出させる。 マナーやエチケットがあることの意味を確認する
展開 25分	2◎教師による朗読 役割演技を行ったり、話し合ったりすることを通して、礼儀のあり方について考える。	○模擬面接でノックしても返事をしてくれなかった校長先生に対して、あなたならどのように行動するか。 ・ドアの外から大きな声で「入ってもよろしいでしょうか」と言う ・しばらく待って、またノックする ○面接官が「おかけください」と言わなかったら、どうすればよいのだろう ・ずっと立ったままにいる。 ・失礼しますと言って座る ・座ってよろしいでしょうかと許可を得る。 ・どうすればいいかわからない ○別の場面を考えてみよう。今日は面接試験。風邪をひいてしまったあなたは、マスクをして行くようにと、家族に言われた。面接会場であなたはどうか。 ・風邪をひいているのでマスクはしたまま ・その場でマスクははずすが、風邪をひいていることを伝える。 ○これまでエスカレーターに乗るときは「歩く人のために片側をあける」というのがマナーだったが、最近歩行禁止になりつつある。なぜ変わってきたか話し合ってみよう。 ・危ないから ・片側を開けるというマナーを守らない人が大勢いるから。	○グループで話合わせ、いつでもどこでも決められたとおりに行動できるとは限らないということを認識させる。 ○複数の生徒に考えを発表させ、代表者に役割演技をさせる。演技後、演技中の気持ちをたずね、見ている者からも感想をたずね、話し合いを行う。 ○教材とは別の場面を取り上げ、考えさせる。正解は一つではない。多面的、多角的に考えさせる。自分ならどうするかを考えさせ、自我関与をさせる。 ○余裕があれば、役割演技を行う。 ○「やってみよう3」について話し合いを行う。変化しつつあるマナーを取り上げることで、礼儀やマナーやエチケットの意義を、別な視点から捉えなおさせる。こうでなければならないということではなく、多角的・多面的に考えさせる。 【評価】礼儀にとって大切なことは何か、役割演技や話し合いを通じて考えているか。(役割演技・話し合い)

		◎礼儀にとって大切なことは何だろう ・他者を敬う態度やふるまい。 ・自分から進んで行く気持ち。 ・時と場にふさわしい行動をすること。	
ま と め 1 0 分	3 今日の授業で感じたことや考えたことをまとめる。 ○時と場に合ったふさわしい言動をとるうえで、これから気をつけたいことを考えてみよう。	○時と場に合ったふさわしい言動をとるうえで、これから気をつけたいことを考えてみよう。	【評価】時と場にふさわしい行動について自分なりに深めているか（ワークシート）